事業所向け　放課後デイサービス　自己評価　　**特**

定非営利活動法人ウェルフェアしまばら　放課後デイサービスあんなか

令和7年度

		チャック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境体制整備	1	利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	11	1		個々にあった空間や間仕切り等にて安心して過ごせる様配慮している。
	2	職員の配置は適切であるか	12			専門的な配慮がなされている。
	3	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1		常に安全面に配慮している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	1		支援や業務内のミーティングがある。
	5	保護者への連絡帳を活用したり、送迎時など保護者の意向や要望などを把握し業務改善につなげているか	12			・保護者の意向は全スタッフで共有を行いできる限り 改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の広報や保護者とのLINEなどで公開しているか	12			HPで公開されている
	7	第３者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	4	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1		・外部研修に積極的に参加したい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後デイサービス計画を作成しているか	11	1		個々の課題に応じた計画を作成している。 ・ニーズや課題に対し、計画し作成している。 ・本人、保護者からの聞き取りを行い、アセスメントを 作成している。面談にてニーズも把握し、スタッフ間で 協議を行い、多面的、客観的に分析し計画を作成して いる。
	10	子どもの適応状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	3		アセスメントを作成し、使用している。 ・5領域に繋がるアセスメントツールを使用している。 家庭での状況も把握しやすい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			スタッフ間で意見を出し合い計画している。 ・全職員で話し合いを行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12			・新しい活動を考え提供している。・スタッフ間で意見を出し合い計画している。・時節、強度の催しを取入れ活動プログラムを工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12			活動内容を変え支援している。 ・平日、1日利用時に行える支援を明確にし、支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後デイサービス計画を作成しているか	12			主に集団活動が多くはなっているが、個々に合わせ て個別活動も取入れ計画を作成している

	15	支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1		注意事項は申し送りで支援前に確認している。
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	11	1		気付きや注意すべき事を共有している。気になった事など職員間で共有している。終了時に話合う時間を設け、情報共有、振返りを行っている。スタッフ間で報連相を意識している。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1		支援終了後に記録をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1		6カ月に1度見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	7		現場主任が参加し、計画の相談に加わっている。
関係機関や保護者との連携	20	相談事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	3		送迎時に情報交換、共有を行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定などの交換・子供の下校時刻の確認など）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12			常に情報交換共有は行っている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	10	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	10	2		情報提供や支援事業所との連携に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容など情報を提供するなどしているか	7	5		情報提供や支援状況等を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障碍者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	4		研修参加を活用している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	5	6	1	今後公共行事に積極的に参加し、障害のない子供達との交流も行いたい。
	27	（地域自立支援）協議会などへ積極的に参加しているか	7	3	2	今後参加予定。
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			連絡ノートや口頭でも状況を伝えお互いに共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか	6	6		

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額などについて丁寧な説明を行っているか	10	2		契約時等に詳しく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			保護者からの要望、意向等を確認して支援対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	12			まだ、保護者会等開催していない。これから活動し、挑んでいきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			常にスタッフと共有して、迅速し対応できるようにしている。連絡ノート活用。
	34	定期的に開放などを発行し活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子供や保護者に対して発信しているか	12			月に一度通信を発行
	35	個人情報に十分注意しているか	12			十分し、理解認識している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			何度も説明納得してもらえるよう、丁寧な説明に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	11	1		開設当初はできていたが、交流もコロナ過で難しくなってきた。
非常時などの対応	38	緊急対応マニュアル、防犯アニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12			マニュアルの整備と、研修時理解周知に努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他必要な訓練を行っているか	12			マニュアルの整備、避難先を提示している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	12			マニュアル整備、研修参加周知を徹底を図っている。
	41	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得たうえで放課後デイサービス計画に記載しているか	12			マニュアル整備、現在身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	12			情報提供の際、確認聞き取り調査して、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			ヒヤリハットの記録使用共有している。